

トピック

平成 27 年 (2015 年)

4月

歩行車「アームプラス」発売

「円背サポートチェア ENN」発売
(えんばい)

ベッドフレーム「IQベッド」3タイプを発売

5月

肌掛けふとん「クールデオケット」発売

「マルチファンクションリフトアップチェア01」発売

6月

ベッドリネンカバー「Maison de Lin」を発売
(メゾン・ドゥ・リン)

車いす用クッション「楽+座クッション」発売
(らく) (ざ)

横引き型ショッピングカート「R・active SC20」発売
(ラクティブ)

7月

ホテル向けレンタルベッド事業を全国展開

9月

歩行支援機「ACSIVE」の販売・一般レンタルを開始
(アクシブ)

「スリープバンテージ フルール」発売

10月

手のふるえを軽減する「リフトウェア」を発売

「第42回 国際福祉機器展 H.C.R.2015」に出展

「WHILL Model AM」の介護レンタルを開始
(ウィル) (モデル)



横引きにも対応するショッピングカート。買物に便利な機能(保冷仕様バッグ、駐車ストッパー、傘立て)を備えています。



本展示会では、「いままでなかった毎日をつくる」をテーマに、認知症の方を抱える家族が安心して過ごせるような福祉機器のほか、アクティブシニアに向けて快適な日常生活を過ごせるような商品など、約70点を出展しました。

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご支援を賜わり、厚く御礼申し上げます。

ここに第13期第2四半期のグッドモーニング通信をお届けいたしますので、ご高覧賜わりますようお願い申し上げます。



代表取締役社長 池田 茂

第13期第2四半期業績のご報告

福祉用具レンタル・販売の好調が全体を牽引して、増収増益となりました。

■売上高	25,651	百万円	前年同期比 2.8%
■営業利益	1,194	百万円	前年同期比 48.9%
■純利益	656	百万円	前年同期比 76.5%

メディカルサービス事業では、営業拠点の新設や新商品の投入などにより、介護保険の給付額が増加している福祉用具貸与事業を中心とした売上高の拡大を図りました。また主力商品のテレビCMなどにより、認知度の更なる向上と新たな需要喚起に注力することで、顧客数の拡大と代理店の獲得にも取り組んでまいりました。

病院・福祉施設等に対しては、ベッドからの転落リスクや介護者負担を軽減する付加価値の高い商品について、継続的な販売促進に取り組んでまいりました。

インテリア健康事業では、今までにない商品や「リハテック」ブランド商品を市場に投入して新たな需要を喚起するとともに、主力の家具販売店ルートに加えて、小売店舗や家電量販店に対する「リハテックコーナー」設置の働きかけにも注力し、収益力の向上に努めてまいりました。

シティホテル等の法人需要に対しては、インバウンド需要の増加や東京五輪開催に向け、今後もベッドの需要がさらに増加していくことが見込まれることから、前期より営業体制を強化してきたことなどにより、好調に推移いたしました。



今期から3ヵ年の中期経営計画では、「企業価値の最大化」に向け、事業基盤を一層強固なものにすると共に、収益性の向上にも取り組んでまいります。

■ 安定的な収益を確保できるビジネスモデルの構築について

メディカルサービス事業では、主力の福祉用具貸与事業を成長させ続けていくべく、営業拠点の拡充や新商品の投入などにより、今後ますます増加していく介護ニーズを取り込み、市場のシェアを高め、事業基盤を一層強固なものにしてまいります。

一方では、介護保険制度に過度に依存しない収益基盤づくりとして、アクティブシニア向けブランド「リハテック」の事業展開を軌道にのせ、ビジネスモデルとして確立することに注力しております。

リハテック商品の開発では、増加傾向にある認知症の方々に対する安全と、そのご家族の安心を高める



商品を拡充しております。

「リハテックコーナー」設置の働きかけは、家具販売店のほか、家電量販店やスーパーなど異業種への販路拡大が着実に進み、今期中に60店舗を目標としております。販売促進策として全国各地で開催しております「リハテック体験試乗会」は、来場が難しい方のために「送迎サービス」あるいは「自宅出張サービス」も実施しておりますが、喜ばれると同時に購入の成果となって現れてきました。

中期経営計画では、収益力を高める基盤づくりに注力いたします。数値目標でも自己資本利益率(ROE)を5.1%(平成30年3月期)とし、これに対す

る取り組みの一つが、在庫を削減して総資産回転率を高めていく施策です。具体的には、これまでの見込み生産から、受注による多品種生産へのシフトですが、それは他社にない(競合しない)新技術・新素材・キャラクターを使った独創的な商品により、新たな顧客の創出とともに在庫の削減や納期の短縮化につなげ、収益性の改善を図ります。



これらをインテリア健康事業のビジネスモデルとして確立することを目指すとともに、画一的になりがちなベッド売場をオリジナリティ溢れる魅力的な売場に変えることにより、集客効果も期待できます。

ホテル営業部門では、シティホテル等の新設やリニューアルが相次ぐなか、国際ブランドの「スランパーランド」を中心とした営業が成果をあげる一方、エキストラベッドの会員制「レンタルサービス」は、登録ホテルの増加が新しい取引先の開拓機会ともなり、この相乗効果を活かして東京五輪に向け一層営業力を強化し、収益拡大を図ってまいります。

通期の業績見通しについて

上期の目標値未達や伸び悩み部門にテコ入れし、通期業績計画の達成を目指します。

平成28年3月期計画				
■売上高	53,500	百万円	前年比	3.0%
■営業利益	2,200	百万円	前年比	27.6%
■純利益	1,100	百万円	前年比	21.5%

株主還元について

自己株式の取得を実施いたしました。

経営環境の変化に対応した柔軟かつ機動的な資本政策の遂行を可能にするための取得であります。

取得日:平成27年8月26日
取得した株式の総数:3,594,000株
取得価額:610,980,000円
平成27年9月30日時点の自己株式数:13,915,029株

第13期第2四半期の配当は、計画通り1株当たり2.50円といたしました。

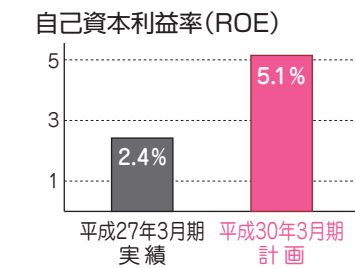
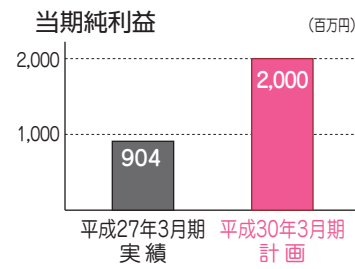
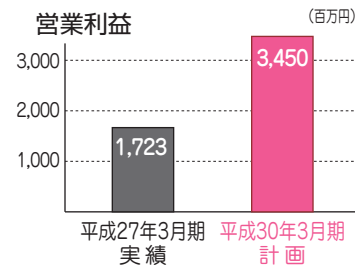
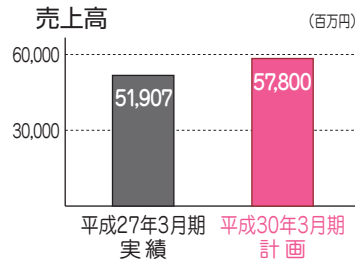
	1株当たり配当金			配当金 総額	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第2四半期末	期 末	年 間			
	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
第11期	2.25	2.75 ^{※1}	5.00	1,080	77.5	3.0
第12期	2.25	2.25	4.50	963	106.5	2.6
第13期	2.50 (実績)	12.50 ^{※2} (予想)	—		97.3 (予想)	

※1. 普通配当2円25銭、記念配当0円50銭
※2. 1株当たり期末配当金につきましては、株式併合の影響を考慮した金額を記載し、年間配当金合計は「—」として記載しております。株式併合を考慮しない場合、1株当たり期末配当金(予想)は2円50銭となり、1株当たり年間配当金は5円となります。

中期経営計画 増収増益 でスタート！

平成28年3月期を初年度とする3カ年

(平成28年3月期 第2四半期)



主な取り組み

得意分野
の強化

新たな
収益機会の獲得

安定的に収益を
確保できる
ビジネスモデルへの転換

経営基盤の強化

福祉用具貸与事業を中心とした介護事業の深耕

■ 今までに無い商品の開発

元気な高齢者向け／要支援・要介護者向け
医療・福祉施設向け

■ 営業拠点の拡充

メディカルサービス事業の営業所

74ヶ所 ▶ 83ヶ所
平成27年3月末現在 平成30年3月末目標

福祉用具レンタル・販売代理店

1,500店 ▶ 2,000店
平成27年3月末現在 平成30年3月末目標

■ 介護保険制度に過度に
依存しない収益基盤づくり

■ インテリア健康事業の
収益性の改善

■ 基本方針

リハテック *Reha tech* ブランド商品

● 高齢者の“よりアクティブに”を高機能商品でサポート



ご利用者にも介助者にもやさしい商品

● 他社にない、今までに無い商品の開発に注力



「転ばない車いす」 転倒を防ぐ新機構
「電動リフトアップ車いす」 介助者の腰痛対策
「体位変換マットレス」 寝返りを支援

「リハテック」事業の強化(販路拡大・商品拡充・販売促進)で収益基盤づくり

● 販路拡大(リハテックコーナー)

地域に密着した家具店や異業種に設置提案



● 商品拡充

他社製品(シニア向け)も加え集客促進



● 販売促進

全国各地で体験&試乗会を開催



送迎サービス・自宅出張サービスも実施

受注からの多品種(新技術・新素材・新デザイン)生産で収益性の改善を推進

● グラフィックアートテクノロジー

ヘッドボードにイラストを施した新感覚
ベッドシリーズ



● ニットエモーションテクノロジー

ニットの風合いを活かしたファブリックベッド



● キャラクター商品

サンリオキャラクター(キティ、リトルツイン
スターズ、マイメロディ等)をデザインしたベッド



本格的な高齢社会で求められるニーズに対応するため、グループが保有する経営資源を集中させ、シルバービジネスの更なる強化と積極的な展開を図ることにより、「グループ総体としての企業価値の最大化」を目指しています。

事業成長のための人材育成:人材の安定的な確保と育成／女性社員の活躍を推進

コーポレートガバナンスの強化:持株会社と事業会社の役割の明確化／情報開示の充実や説明責任の徹底により企業価値を向上／独立社外取締役を複数名体制とすることを検討

認知症外出通報システム「おでかけキャッチ」 リハテック Reha tech

ご利用者は何も所持せず、ご家族の負担もなく、外出行動を知らせます。



玄関の〈本体ユニット〉を通過すると

▶▶▶ 受信機でお知らせ

ご家族は認証キーで通過



おでかけキャッチ

- 本体ユニットと受信機は最大3台まで増設可能
- 本体ユニットと壁間との推奨距離は約1m以下
- 本体ユニットの推奨取付高さ: 床から1m以下
- 人感センサー検知距離: 約2m
- 認証キー検知距離: 約1m
- 本体ユニットと受信機の通信距離: 約400m

認知症外出通報システム
おでかけキャッチ WS-01

介護
レンタル

一般
レンタル

介護保険利用者負担1割

864円(税込)

利用者負担2割: 1,728円(税込)

月額8,640円(税込)

購入

224,640円(税込) 本体価格208,000円

■〈本体ユニット〉サイズ: 幅14.5×奥行7×高さ21cm 重量: 700g
 〈受信機〉サイズ: 幅8×奥行2.9×高さ13.5cm 重量: 210g
 〈認証キー〉サイズ: 幅3.4×奥行1.4×高さ7.9cm 重量: 30g
 ■電源: 〈認証キー〉ボタン電池 〈受信機〉充電式リチウムイオン電池

※上記のレンタル料および販売価格は本体ユニットx1、受信機x1、認証キーx2の場合です。セットの組み合わせは、9種類をご用意しております。詳細は福祉用具販売・レンタルカタログ「ホームケア全科」vol.13をご覧ください。

開発者からのメッセージ

フランスベッド株式会社機能商品開発課

小谷 勲

ご利用者様に何も身に付けさせることなく見守る「おでかけキャッチ」を開発しました。通過したことを音声や光、文字でお知らせします。音声、文字によって、通過以外の情報もご家族に判り易くお知らせします。



渡邊 昭二

この「おでかけキャッチ」の開発においては、CADによる筐体設計、組立て図面作成を担当しました。開発メンバーの一人として、この福祉用具の導入により、ご利用者様の安全の確保、ご家族様の介護負担の軽減になれば嬉しく思います。



「マルチファンクション リフトアップチェア」 リハテック Reha tech

立つ、座る、寛ぐ、移動する…をサポート。生活動作がより快適になります。

立ち座りの負担を軽減

座ったままスムーズに移動
そのままダイニングチェアに



電動

リモコン
操作

充電
タイプ



リクライニング機能

- 長時間の使用も快適です
- 肘掛けが跳ね上げ式でベッドからの乗り降りがスムーズ
- 立上がり時はフットレストを収納、移動時は足置きに
- 大型キャスターで座ったまま移動(後輪ロック付)



マルチファンクション
リフトアップチェア 01

介護
レンタル

一般
レンタル

介護保険利用者負担1割

1,404円(税込)

利用者負担2割: 2,808円(税込) 月額14,040円(税込)

購入

321,840円(税込) 本体価格298,000円

■サイズ: 幅63.5×奥行78～137×高さ97(85～130)×座面高40～54cm
 ■重量: 44kg(バッテリー含む)
 ■耐荷重: 80kg ■材質: 本体/スチール・合板、クッション材/ウレタンフォーム・樹脂綿、生地/ポリエステル100% ■電源: AC100V(50～60Hz)、最大消費電力: 70W(待機電力0.4W)、バッテリー: 鉛蓄電池 ■充電時間: 約2時間

開発者からのメッセージ



フランスベッド株式会社
インテリア開発課

山田 安宏

介護労働の腰への負担を軽減してくれる車いすです。リモコン操作により座面がリフトし、車いすご利用者の立ち上がりも補助してくれます。介助する人、される人にとって、とてもうれしいフランスベッド製品のひとつです。

幅広いファンの夢を叶えた「サンリオキャラクターベッド」 寝室に新しい風、多彩なグラフィックベッドが続々登場しています。

ハローキティ



マイメロディ



リトルツインスターズ



新技法による無限の可能性



立体ヘッドボード



従来、家庭用ベッドの表面材は木目柄が主流で、ダークカラー、中間色、ナチュラルなど、選択の幅が少なく、表情の限られた寝室空間になりがちでした。フランスベッドは寝室のイメージ作りの可能性を広げる為、独自開発のGAT技法を用い、様々なグラフィックが楽しめる新らたな商品群を開発しました。寝室を自由に楽しむ新しい時代の始まりです。

GAT(グラフィック アート テクノロジー)技法
グラフィック印刷の技術をフランスベッドの国内工場で独自に
追及。発色や立体感にこだわった技法を生み出しました。



和テイストのヘッドボード

企画担当者からのメッセージ



フランスベッド株式会社
インテリア営業企画課

永井 英之

サンリオキャラクターベッドは、「ハローキティ」「マイメロディ」「リトルツインスターズ」の9型式を展開中です。当技術を駆使した新キャラクターや、アートデザインベッドを随時追加しています。

世界が選ぶ、伝統と風格のブランド「スランバーランド」 世界有数の高級ホテルチェーン「シェラトン」にも採用されています。



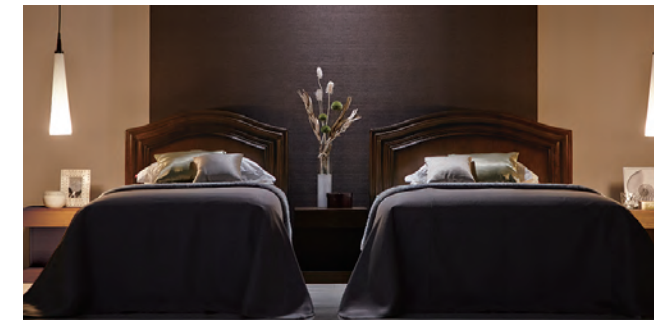
United Kingdom 1919



若きマーガレット王女を創設者の
ジョン・スコンベがベッド工場を案内。

1919年創立の「スランバーランド」は、受け継がれて来たクラフトマンシップとともに、その時代の新技術や新素材を採り入れながら、常に改良を重ねてきた英国の伝統あるベッドメーカーです。“王室御用達”の栄誉も授かるなど、他のベッドにはない気品を醸し出しています。

スランバーランドの寝心地をご家庭でも



DS(ダブルスプリング)/ボトムにも高密度スプリングを配置したホテル仕様



スランバーランド SL-020

- フレーム+マットレス(SL-1000N) 価格
シングル : ¥334,800(税込)
セミダブル : ¥372,600(税込)
ダブル : ¥432,000(税込)
- 主材: 木製・天然木・天然木突板
- カラー: パーゼルオーク

シェラトン・グランデ・トーキョーベイ・ホテル



“Dream(夢あふれる)”と“Cruiser Ship(客船)”をテーマとしてデザインされた「オーシャンドリームルーム」。大海原を航海する豪華クルーザーに乗り込んだような空間には、スランバーランドの特注ベッド「シェラトン・スイート・スリーパーベッド」が用意され、～天使に抱かれるような寝心地～が体験できます。

営業担当者からのメッセージ



フランスベッド株式会社
ホテル東京営業所

鶴田 利幸

世界のホテルでスランバーランドブランドが採用されています。日本でも世界チェーンのシェラトン・グランデ・トーキョーベイ・ホテルに納入することが出来ました。日本の基幹ホテルからさらに全国へ展開して参ります。

社会・環境活動

■ 公益財団法人 フランスベッド・メディカルホームケア研究・助成財団

詳細は、財団のHPをご覧ください。 <http://www.fbm-zaidan.or.jp/>

2015年 医療・介護従事者フォーラム in名古屋「医療・看護・介護の連携で地域社会での暮らしの支援」を開催

【特別企画講演】

白十字訪問看護ステーション所長：秋山正子氏

【基調講演】

福祉ジャーナリスト：浅川澄一氏（元・日本経済新聞社編集員）

【シンポジウム】

座長（公財）フランスベッド・メディカルホームケア研究・助成財

団会長：多田羅浩三

【実践報告】

あいち診療会野並理事長：畑恒土氏

名古屋市療養サービス事業団訪問看護課長：荒木裕美氏



住み慣れた地域で医療・看護・介護サービスを安心かつ継続的に受けられるには、それぞれの連携と役割分担が必要不可欠です。この地域包括ケアシステムの構築に取り組む関係者の方々に、多数ご参加いただきました。

■ 一般財団法人 家具の博物館

詳細は、財団のHPをご覧ください。 <http://kaguhaku.or.jp/>

「近代日本の椅子 [I]明治・大正編」を開催

幕末から明治・大正期にかけて製作され、使われた椅子（家具の博物館所蔵）の展示をはじめ、近代日本の椅子にかかわる絵画、書籍、図面なども紹介いたしました。

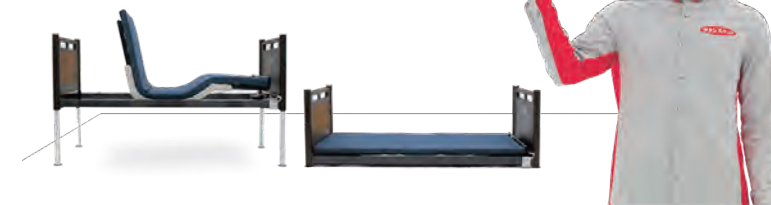
日本人の暮らしも床座から椅子座主体の暮らしへと大きく変化していくなかで、その変遷を辿るとともに、日本人の暮らしの中で育まれてきた様々な椅子をご覧ください。



広告・広報活動

■ フランスベッド独自の機能を備えた「超低床フローアーベッド」は、医療・福祉施設はもとより、在宅でのレンタル・販売も好調です。テレビCMにより、更なる認知度の向上と新たな需要喚起を図っております。

昼は高く、夜は低く
「超低床フローアーベッド」



●この低さです篇：フランスベッド開発部員に見立てた「研作さん」が、今までに無い独創的な商品機能を親しみやすく伝えています。

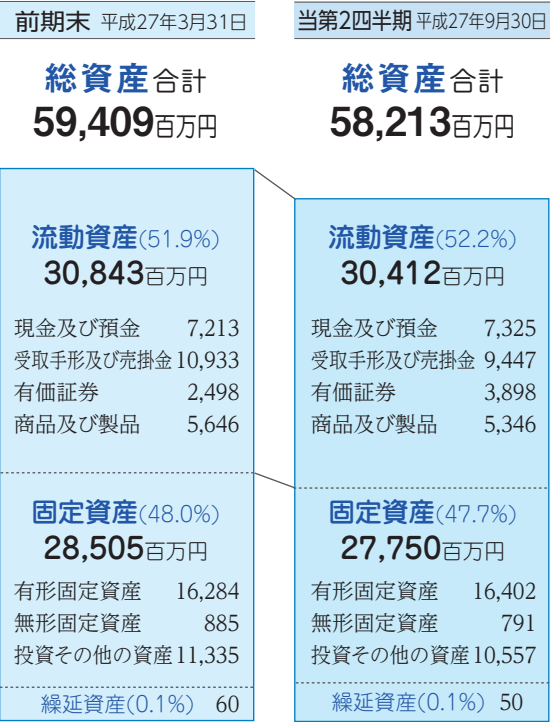
- ・ 認知症の方などの転落リスクを超低床で軽減
- ・ ベッドからの立上りを安全にする高さ調整
- ・ 高さ調整で移乗時や介助時の負担を軽減
- ・ 超低床での座位移動や手足移動で自立促進
- ・ ベッドの高さに不安を感じる方に

テレビCM提供番組一覧 フランスベッドのテレビCMを下記番組に提供しております。是非ご覧になって下さい。

提供期間（2015年10月～2016年3月）

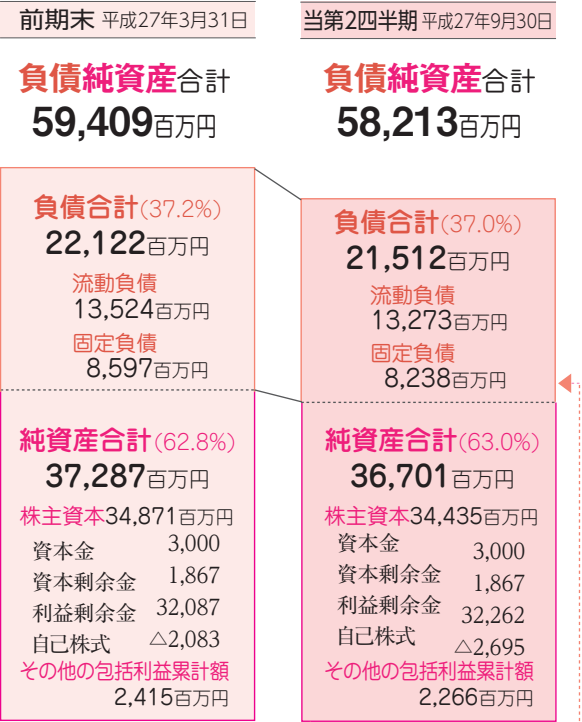
提供番組名	エリア	チャンネル	放映時間
「サタデープラス」	全国 (JNNネットワーク)	TBS系列28局	毎週土曜 8:00～9:25
「主治医が見つかる診療所」	全国 (TXNネットワーク)	テレビ北海道、テレビ東京、 テレビ大阪、テレビ愛知、 テレビせとうち、TVQ九州放送	毎週月曜 20:00～20:54
あさチャン！	関東ローカル	TBSテレビ	毎週月・水・金 5:30～8:00(6時台提供)
Nスタ	関東ローカル	TBSテレビ	テレコ 17:50～19:00(18時台提供) (月・水・金の翌週は火・木)
「報道ステーションSUNDAY」	関東ローカル	テレビ朝日	毎週日曜 16:30～18:00
グッド!モーニング	関東ローカル	テレビ朝日	毎週木曜 4:55～8:00(7時台提供)
土曜スペシャル	関東ローカル	テレビ東京	毎週土曜 18:30～20:54(19～20時台提供)
前略、大徳さん	東海ローカル	中京テレビ	毎週日曜 9:55～10:55
よ～いドン！	関西ローカル	関西テレビ	毎週木曜 9:50～11:15
水戸黄門(再放送) 2015年10月～12月まで	広島ローカル	RCC中国放送	テレコ 16:53～17:50(月・水・金の翌週は火・木)

連結財務諸表の概要



純資産のポイント

■総資産は、前期末と比較して1,195百万円減少し58,213百万円となりました。流動資産は前期末と比較して430百万円減少し30,412百万円となりました。主な要因は、現金及び預金112百万円、有価証券1,399百万円などの増加に対し、受取手形及び売掛金(電子記録債権を含む)1,485百万円、たな卸資産319百万円などの減少によるものであります。固定資産は前期末と比較して755百万円減少し27,750百万円となりました。主な要因は、有形固定資産の取得などによる増加に対し、1年基準(ワンイヤールール)適用となる譲渡性預金600百万円の流動資産への振替、土地の売却336百万円などの減少によるものであります。



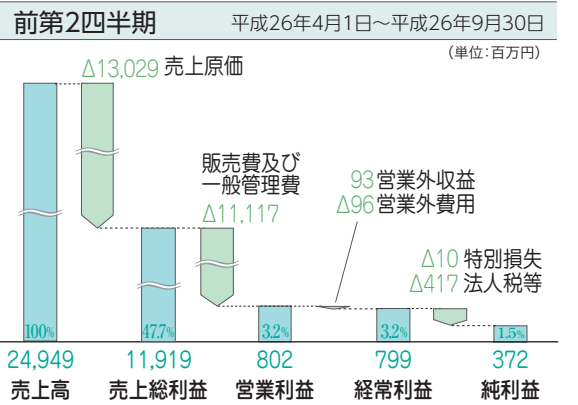
純資産のポイント

■純資産は、前期末と比較して586百万円減少し36,701百万円となりました。主な要因は、増加については親会社株主に帰属する四半期純利益656百万円などであり、減少については剰余金の配当481百万円、自己株式の取得611百万円などによるものであります。

負債のポイント

■負債は、前期末と比較して609百万円減少し21,512百万円となりました。主な要因は、短期借入金300百万円などの増加に対し、ファクタリング未払金380百万円、長期未払金654百万円などの減少によるものであります。

連結損益計算書の概要



連結包括利益計算書

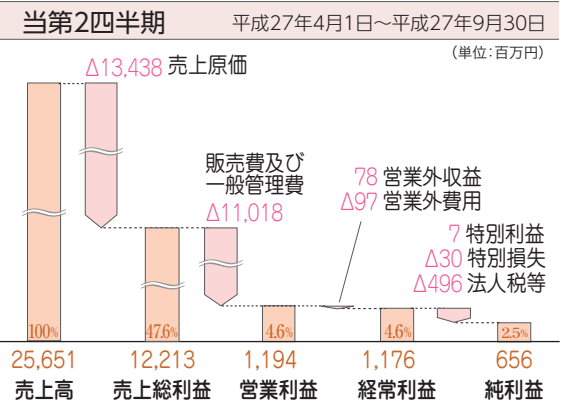
(単位:百万円)

科 目	前第2四半期 自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日	当第2四半期 自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日
四半期純利益	372	656
その他の包括利益	132	△149
その他有価証券評価差額金	103	△36
繰延ヘッジ損益	33	19
退職給付に係る調整額	△4	△132
四半期包括利益	504	507
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	504	507
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科 目	前第2四半期 自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日	当第2四半期 自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,931	3,140
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,914	△1,634
財務活動によるキャッシュ・フロー	△558	△592
現金及び現金同等物に係る換算差額	12	△0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△528	912
現金及び現金同等物の期首残高	10,024	9,712
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,495	10,624



キャッシュ・フローのポイント

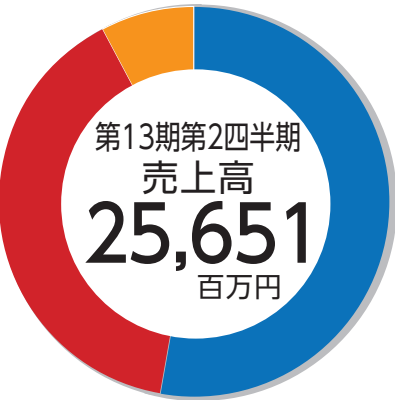
営業活動によるキャッシュ・フローは、3,140百万円の収入(前年同四半期は1,931百万円の収入)となりました。主な要因として、収入については、税金等調整前四半期純利益1,153百万円、売上債権の減少1,498百万円、非資金項目である減価償却費1,819百万円の計上などによるものであり、支出については、仕入債務の減少241百万円、ファクタリング未払金の減少380百万円、確定拠出年金移行に伴う未払金の減少669百万円などによるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、1,634百万円の支出(前年同四半期は1,914百万円の支出)となりました。主な要因として、収入については有形固定資産の売却354百万円などであり、支出については、有形固定資産の取得1,953百万円などによるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、592百万円の支出(前年同四半期は558百万円の支出)となりました。主な要因として、収入については短期借入れによる収入600百万円などであり、支出については、短期借入金の返済300百万円、配当金の支払額482百万円、自己株式の取得611百万円などによるものであります。

フランスベッドグループ業績のご報告

事業セグメント別の概況



セグメント別売上高構成比

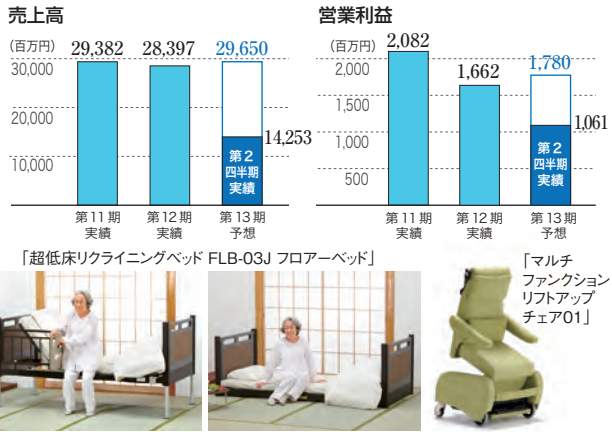
メディカルサービス事業は、新商品の市場投入や営業拠点の拡大で新規顧客や代理店の獲得に取り組み、増収増益となりました。インテリア健康事業は、家庭用ベッドや家具類の売上は伸び悩んだものの、ホテル営業の高級ベッド受注が好調に推移した結果、減収増益となりました。

セグメント別業績の推移

		第11期第2四半期 H25.4～H25.9	第 11 期 H25.4～H26.3	第12期第2四半期 H26.4～H26.9	第 12 期 H26.4～H27.3	第13期第2四半期 H27.4～H27.9	第 13 期 [計画値]	前年比 増減率
セグメント	メディカルサービス事業	売上高	13,540	29,382	13,406	28,397	14,253	4.4%
		営業利益	879	2,082	722	1,662	1,061	7.1%
	インテリア健康事業	売上高	10,151	21,672	9,845	20,000	9,646	1.2%
		営業利益	323	726	72	99	169	223.2%
その他		売上高	1,945	3,835	1,697	3,508	1,751	2.9%
		営業利益(損失)	△32	△32	△7	△66	△53	—
調整額		売上高	—	—	—	—	—	—
		営業利益	11	23	14	28	16	96.4%
合 計		売上高	25,637	54,891	24,949	51,907	25,651	3.0%
		営業利益	1,181	2,799	802	1,723	1,194	27.6%

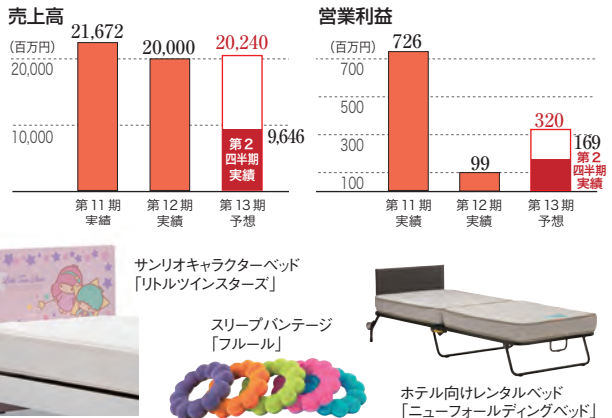
メディカルサービス事業

在宅向けにもレンタル・販売を開始した「超低床フロアーベッド」は、テレビCMで新たな需要を喚起したほか、立ち座りをサポートする「マルチファンクションリフトアップチェア」等を市場に投入して、顧客数の拡大と代理店の獲得に取り組みました。病院・福祉施設では、「見守りケアシステムM-1」や「超低床フロアーベッド」など、高付加価値商品の継続的な販売促進に努めました。



インテリア健康事業

サンリオの「キャラクターベッド」、肌掛けふとん「クールデオドケット」、万能クッション「スリープバンテージフルール」などを市場に投入して需要を喚起したほか、ホテル向けにはエキストラベッドの「レンタルサービス(会員制)」を全国展開し、契約ホテルに対して高機能ベッド等もアピールする機会として活かし、さらなる需要を取り込んできました。

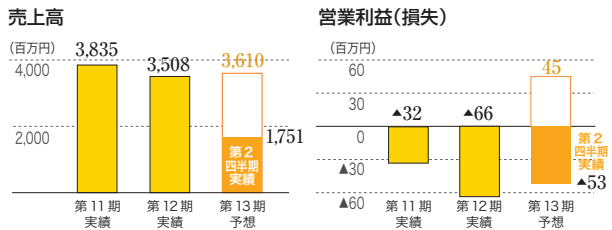


その他

主に女性をターゲットとしたナチュラル系雑貨店の拡大を図っているほか、“眠り”をコンサルティングするショップを新たに展開するなど、インショップ事業に注力しています。



30代以降の女性がターゲット「ナチュラルライフスタイル」▲

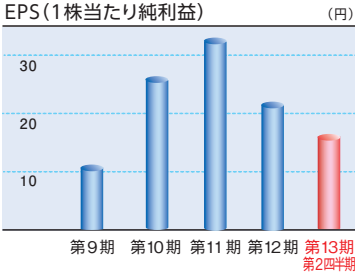
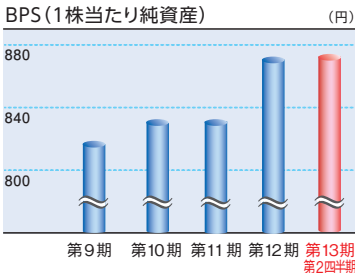
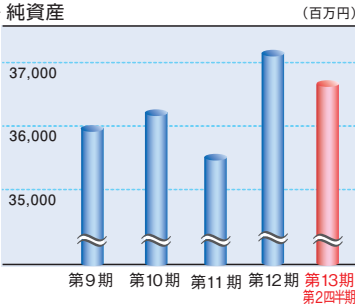
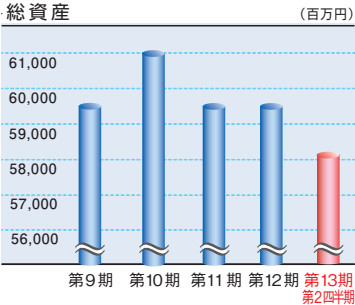


フランスベッドグループ業績のご報告

主要な経営指標等の推移

	第9期 H23.4～H24.3	第10期 H24.4～H25.3	第11期 H25.4～H26.3	第12期 H26.4～H27.3	第13期第2四半期 H27.4～H27.9
売上高 (百万円)	49,776	50,815	54,891	51,907	25,651
営業利益 (百万円)	1,625	2,043	2,799	1,723	1,194
経常利益 (百万円)	1,593	2,018	2,784	1,745	1,176
純利益 (百万円)	471	1,130	1,397	904	656
包括利益 (百万円)	628	1,280	1,356	3,436	507
総資産 (百万円)	59,651	61,021	59,443	59,409	58,213
純資産 (百万円)	36,007	36,208	35,522	37,287	36,701
1株当たり純資産 (円)	817.42	829.02	829.28	870.51	871.47
1株当たり純利益 (円)	10.49	25.85	32.24	21.12	15.42
自己資本比率 (%)	60.3	59.3	59.7	62.7	63.0
自己資本比率(時価ベース) (%)	63.5	74.0	69.5	64.5	-
自己資本利益率 (%)	1.29	3.13	3.89	2.48	-
株価収益率 (倍)	81.97	40.03	29.92	42.36	-
営業活動によるC/F (百万円)	4,323	5,042	3,241	4,216	3,140
投資活動によるC/F (百万円)	Δ 5,030	Δ 2,022	Δ 2,550	Δ 3,501	Δ 1,634
財務活動によるC/F (百万円)	Δ 2,717	Δ 1,407	Δ 2,165	Δ 1,026	Δ 592
期末残高 (現金及び 現金同等物) (百万円)	9,957	11,584	10,024	9,712	10,624
キャッシュ・フロー対 有利子負債比率 (年)	2.2	1.9	2.8	2.1	-
インタレスト・ カバレッジ・レシオ (倍)	39.1	57.1	38.1	55.6	-

注) 売上高には消費税等は含まれておりません。
注) 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。
注) キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しております。
注) 有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち、利子を支払っているすべての負債を対象としております。
※平成27年10月1日付の株式併合(5株を1株に併合)を考慮して、過年度の1株当たり情報を算定。



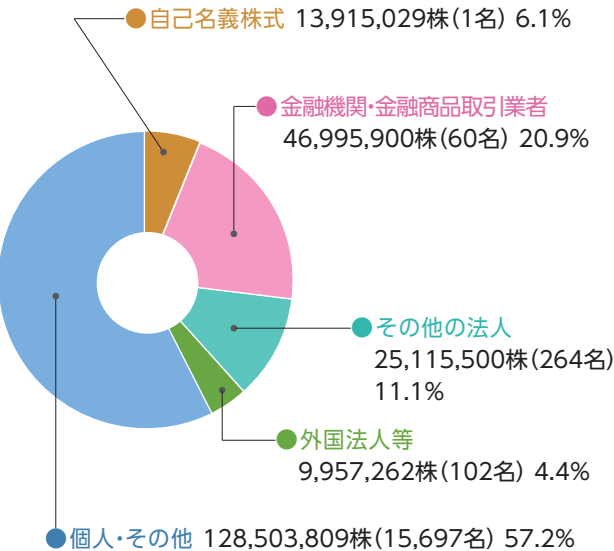
株式の状況

株式の状況

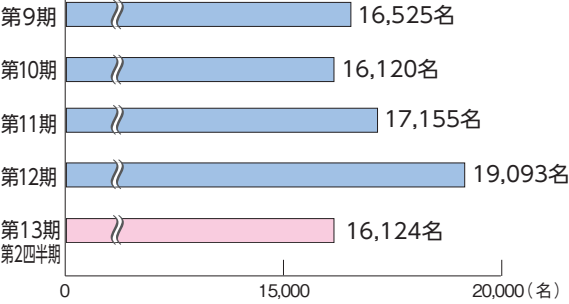
(平成27年9月30日現在)

発行済株式の総数	224,487,500株
株主数	16,124名

所有者別株式分布状況



株主数の推移



大株主の状況

(平成27年9月30日現在)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
池田 茂	30,111	14.2
有限会社しげる不動産	12,350	5.8
永井 美代子	11,972	5.6
早崎 静子	11,972	5.6
渡部 恵美子	11,972	5.6
池田 シノエ	7,205	3.4
株式会社三井住友銀行	7,058	3.3
東京海上日動火災保険株式会社	5,391	2.5
株式会社三菱東京UFJ銀行	5,248	2.4
フランスベッド取引先持株会	3,917	1.8

(注)当社は、自己株式13,915,029株(6.1%)を保有いたしておりますが、上記の大株主からは除外いたしております。また、持株比率は自己株式を除外して計算しております。

株価と売買高の推移

(平成26年10月～平成27年9月)

